

バスケットボール教室概要

地元（宮崎内）でミニバスケットボールをやっている小学生約 40～50 名を対象に、元日本代表選手（未定）によるバスケットボール教室を実施する。

事業名	バスケットボールフェスティバル
主催	公益財団法人日本バスケットボール協会・ゼビオグループ
主管	公益財団法人日本バスケットボール協会 ゼビオグループ
協力	宮崎県バスケットボール協会
会場	株式会社明治・ニチバン株式会社（予定）
日時	未定
協力費	平成 25 年 2 月 10 日（日） ※時間の詳細は変更の可能性あり 9 時 00 分～9 時 15 分 スタッフ会場入り・スタッフミーティング 9 時 15 分～10 時 00 分 会場設営（バナー設置、受付、ボール・備品確認等） 10 時 00 分～10 時 30 分 参加者受付開始 10 時 30 分～10 時 40 分 一部開会式・講師紹介 10 時 40 分～12 時 バスケットボール教室 （10 時 40 分～12 時 保護者向け講習会） 12 時～12 時 30 分 講和・記念撮影 12 時 30 分～13 時 30 分 休憩・午後の部準備 13 時 30 分～15 時 15 分 5on5 大会実施 ※人数によって時間の変更あり 15 時 15 分～15 時 25 分 閉会式 15 時 25 分～15 時 55 分 片付け 15 時 55 分～16 時 終礼・解散
問合せ先	4 万円（人件費、交通費、事務・通信費等）、その他体育館、お弁当実費
	公益財団法人日本バスケットボール協会 事業戦略部 佐藤葉 Tel: 03-3779-3101 E-mail: ysato@basketball.or.jp

以上

バスケットボールキャラバン概要

■目的■

① 作る

バスケットボールに関わる子どもたちを増やす為のきっかけ作りをします。

② 伝える

一人でも多くの子ども達に、スポーツの楽しさ、ボールに触れ合う面白さ、そして夢を持つ事を伝えます。

③ 広げる

子どもだけではなく、保護者などまわりの大人達を巻き込む事により、この輪を大きく広げます。

④ 続ける

バスケットボール競技の社会への継続的な関与を促進します。

保護者・指導者講習会

- ・栄養やテーピングなどに関する正しい知識を身につけて頂くこと
※教室は企業様のご協力のもとに実施いただく
- ・協会の活動を通し子どものバスケットボールライフをサポートして頂くきっかけづくり

■実施内容(例)■

①バスケットボール教室

対象:ミニバスケットボール経験者の小学生

- ・アイスブレイクを取り入れたウォーミングアップ
- ・ボールを使ったチームワークドリル(ボール渡しや球取り合戦など)
- ・ボールを使った基本練習(パス・ドリブル・シュートなど)

※上記実施内容にコミュニケーションやチームワークといった要素を取り入れる予定

②講話

対象:バスケットボール教室参加者

- ・バスケットボールにおける仲間の大切さ
- ・スポーツを通して得たこと 等

③栄養講座

対象:保護者

- ・小学生に必要な栄養素や摂取方法
- ・小学生年代とプロテインの重要性 等

④テーピング講座

対象:指導者

- ・傷害予防を目的としたテーピング講座
- ・バスケットボールでおきやすい傷害に対するテーピング講座 等

<当日モデルスケジュール>

(フェスティバル)

バスケットボールファミリーを集めた1 Day イベント

9:00～	設営開始
10:00～10:30	教室受付
10:30～10:40	開講式(県協会、講師からの挨拶)
10:40～12:00	バスケットボール教室・保護者対象セミナー・指導者対象講義・審判対象講義
12:00～12:30	講話・Q&A
12:30～13:30	休憩
13:30～15:30	5 on 5 大会
15:30～15:50	閉会式・記念撮影
15:50～16:30	撤収

(小学校訪問)

小学校の授業時間を活用したスポーツ教室(時間は実施場所によって異なる:下記は例)

10:00～10:30	学校到着:挨拶と備品準備
10:30～10:35	スポーツ教室開始(講師自己紹介や子ども挨拶)
10:35～11:30	スポーツ教室実施(バスケットボール使ったスポーツ教室)
11:30～12:00	講話・質問時間
12:00～12:30	片づけ・学校によっては昼食を子ども達と一緒に食べる
12:30～	撤収

<開催地区と年間スケジュール>

(フェスティバル)

47 都道府県の小学校の体育館および公共施設にて実施

2012年11月～2014年3月末までの約1年半で全47都道府県でのバスケットボールキャラバンを検討

<年間スケジュール>

- ・2012年11月～2013年3月末
全国で25都道府県
- ・2013年度以降
1年間で47都道府県全てを巡回

(小学校訪問)

希望地域・連携可能地域を中心に教育委員会と連携し小学校でのスポーツ教室を実施

<年間スケジュール>

- ・2013年1月～2013年3月末
教育委員会とつながりのある地域や地域協会職員が教員をしている地域を中心に実施
- ・2013、2014年度
年間10回程度実施。モデル地域を選定し地域協会が独立運営できるようJBA・XSMにてサポート
- ・2015年度以降
13、14年度に実施したモデルケースを全都道府県に随時導入。JBA・XSMにてサポート

<JBA バスケキッズキャラバン実施に関して>

2013 年度に関しては、予備期間として JBA より開催地を選定、各都道府県協会に打診の上、随時開催していく。

選定された都道府県協会に関しては、以下スケジュールに基づいた準備と各種提出書類①～④を提出する。

※これら活動協力費として、開催都道府県協会に対し一部予算を計上する。

内容	提出書類
① JBA より開催打診・体育館確保	
② JBA とのミーティング・募集要項決定・募集開始	2
③教室参加者決定・名簿作成	3
④事前準備	
⑤教室実施・当日管理	
⑥キャラバン終了報告書提出	4

① JBA より開催打診・体育館の確保

JBA より実施依頼後、体育館の確保を行う。

体育館確保条件：小学校体育館もしくは公共の体育館を 2 コート、1 日終日にて確保する事。その他原則として次の付帯設備を備えており、その確保をする事。

- (1) コート×2 (1 コートの場合は要相談)
- (2) 座学教室 2～3 部屋
- (3) 講師控室
- (4) 更衣室

補足：近隣地域との調整の為、事前に日程を相談する可能性あり。

② 募集要項決定、募集開始

募集等告知の開始、当日のスタッフやお弁当の手配など実施に向けた準備を開始する。実施事項に関しては JBA・都道府県協会・XSM と協議の上、決定する。【提出書類②】

- ・都道府県協会HPでの募集案内開始

募集方法詳細：ゼビオ店頭もしくは店舗HPから申込用紙をダウンロードし、JBA（もしくは事務局代行の XSM）に FAX かメールにて申し込む。参加は 1 チーム 5 名までとなり、抽選で参加者を決定する。

※地域によっては、都道府県協会に募集依頼をする可能性あり。

告知方法詳細：JBA メルマガにて開催都道府県の指導者および、役員、審判に一斉メールを行う。

HP（JBA、地方協会、ゼビオ店舗、特設サイト）、県協会メルマガなど（ツールがある場合）

ゼビオ店頭、地域会報誌やメディアなど（フェスティバルが本格稼働してきた場合）

- ・当日運営スタッフ（1～2 名）の手配
- ・各種荷物（バナー・ボール等）の受け取り
- ・スタッフ、講師用のお弁当の手配
- ・参加者の確保（一般募集で集まらなかった場合に県協会のつながりのあるチーム等を準備しておく）

③ 教室参加者決定・名簿作成

実施 1 か月前に募集を締め切り、抽選の元参加者を決定し、参加者名簿を作成。都道府県協会より（募集方法によっては XSM）参加通知フォーマットに則り、参加者（代表者）への通知を行う。【提出書類③】

④ 教室事前準備

(1) 用具の手配

移動式バスケットゴールの場合は、動かないように床固定への対応準備。

受付用、机・椅子、施設によってはプロジェクターやスクリーンの手配と当日の管理。

(2) ボール運搬

教室ごとに〇〇〇よりボール（約 50 個）、折り畳み式ボールカゴ（5 個）が一括送付される。一括送付が前提となるが、送付先をキャラバン実施体育館に指定する事は可能とし、調整管理を行う。キャラバン開催日の 2 週間前までに〇〇〇より協会に電話にて直接連絡が入る。以下の内容を相互確認する事。

- ・〇〇〇担当者について（氏名・連絡先）
- ・協会担当者について（氏名・連絡先）
- ・ボールの送付先・到着日時について

協会は、〇〇〇より指定場所にボールが送付された事を確認し、キャラバン開催前までに空気圧を確認し、ボールをボールかごに入れ、予め準備をしておく事。

又、教室終了後、担当者は送付時に同封される着払い伝票を使用して、発送元の〇〇〇支店へ返却する。

(3) 当日スタッフの手配

JBA バスケキッズキャラバンでは、教室開催当日の受付・アシスタントスタッフとして、以下の条件にて、協会より 2 名手配する事。業務は、受付、教室の全般的なアシスタント、教室終了後の片付け等。

- ・年齢は 18 歳以上である事。
- ・JBA 登録チームでの競技経験がある事。（コーチライセンス保持者が理想的）
- ・服装は動きやすい服装で統一する事。
- ・必要備品：ペン、モップ、出血時対応備品
- ・教室受付開始 1 時間前から教室終了 2 時間後まで確保する事。

(4) 当日の昼食手配

原則として講師 1 名、JBA スタッフ 1 名、XSM スタッフ 1 名、地域協会スタッフ 3 名、スポンサー 2 名の計 8 名分の昼食を手配する事。（場所によって変わる）

(5) 緊急時の対応準備

緊急時用の最寄りの病院を調べ、JBA（もしくは XSM）へ報告。

⑤ キャラバン当日管理

協会担当者、キャラバン担当者、バスケキッズキャラバン講師は、教室の手順に関する以下の事項の最終確認の打ち合わせを行う。

- (1) 当日のスケジュール（協会挨拶、付帯イベント概要、緊急時対応等）
- (2) メディアへの対応等

⑥ キャラバン終了報告書提出（実施終了 1 か月後まで）

キャラバン終了報告フォーマットに則り、開催後 1 か月以内に、終了報告を JBA オフィスに提出。【提出書類④】

<協賛スポンサーについて>

JBA バスケットキッズキャラバンへの協賛スポンサーを募集（営業）し、活動経費の一助とする。以下、協賛社向けメリット。

■制作・配布物への露出

参加者への配布物へのパートナー名称・ロゴの露出

（E x ; 看板バナー、ポスター、チラシ、指導者用 DVD、指導者用テキスト、受講者用テキスト等）

■着用製品のサプライ（別途ご提供）

教室にて使用する用具の協賛社製品提供による社名、ブランド名の露出

- ・講師着用ウェア（T シャツ、パンツ、ソックス）
- ・受講者着用ウェア（T シャツ、ハーフパンツ、ソックス等）
- ・ビブス

■活動名称への協賛社名付記

本事業の正式名称への御社名付記

「〇〇JBA バスケットキッズキャラバン」

■告知・報告媒体への露出

告知・報告活動時の、協賛社の名称・ロゴの露出

- ・告知活動：JBA HP、バスケットボール専門誌、各都道府県バスケットボール協会による独自の告知活動等
- ・報告活動：JBA HP、バスケットボール専門誌（特集）

■プレゼンタイムの付与

プログラム内への、協賛社プレゼンテーションタイムの組み込み

■バナー掲出

会場内への協賛社バナーの掲出

■ステートメントの活用（案）

協賛社の社会貢献ステートメントとしての利用

- ・「〇〇は、JBA バスケットキッズキャラバンのオフィシャルパートナーです。」
- ・「〇〇は、JBA バスケットキッズキャラバンを通じて日本のバスケットボールの普及・育成・強化を支援しています。」

<公募スケジュール>

1年を4クールに分け、開催地を公募の上、決定する。

応募条件：以下「応募から実施終了までのスケジュール」に記載されている準備と、各種提出書類①～④の期限内の提出。

※これら活動協力費として、開催都道府県協会に対し一部予算を計上する。

<応募から実施までの詳細手順>

月	残期間	内容	提出書類
4	4 か月 前	①JBA へ応募	1
5	3 か月 前	②開催地決定・体育館確保	
6	2 か月 前	③JBA とのミーティング募集要項決定募集開始・体育館確保	2
7	1 か月 前	④教室参加者決定・名簿作成 ⑤手配関連決定	3
8	開催月	⑥教室実施・当日管理	
9	1 か月 後	⑦終了報告	4

① バスケットキッズキャラバンへの応募 【提出書類①】

実施前年度の12月～1月に定められているJBA公募期限中に応募書類に記入の上、JBAへメール又はFAXにて応募を行う。

補足

- ・申込用紙には第1希望日～第3希望日・実施候補場所を明記のする（希望日は月と希望集を明記）
- ・申込事務局はJBAからXSMに委託する可能性がある

※②以降に関しては、平成24年度のスケジュールに則り準備～終了までをサポートする。